

中国留学体験談

国際学部国際文化学科

21018095 樋口真矢

最初は、ただ就職のことだけを考え、中国語を選択しました。元々留学に行ってみたくて考えていたため、身近な人々に中国留学に挑戦したいと話すと、反対意見が多く、違う国にするべき、危ないからやめなさい、と言われることが多々ありました。行ったことがなく、何も知らない中国が危ないと判断されるのは、メディアの印象操作によるものであると明確でしたが、何も説得することができない自分に無力感を覚えました。そのため、自分自身で本当の中国の様子を見て判断し、メディアの情報に固執しない、自分の考えを持ちたいと思うようになり、今回の留学を決意しました。約4か月間の留学は人生の中で大変有意義な時間であり、自分を強く成長させてくれました。

強く希望し参加した留学でも、中国の生活や、クラスメイトと自分の中国語のレベルの違いに圧倒され、慣れることが出来ず、初めはとても辛かったです。ですが、1か月を過ぎたあたりから、授業中、先生が話していることが聞き取れるようになり、意思の疎通もできるようになりました。分からない単語はメモを取り、すぐに電子辞書で調べ、使い方や言い回し方を覚えるようにしていました。知っている日本人がクラス内にいなかったため、最初は馴染めないのではないかと、とても心配していました。ですが、クラスメイトはとても優しく、週末にはよく出かけたり、勉強をしたりして、一緒に中国語を学べる関係になりました。自分と同じ、中国語を学んで将来に生かしたいという目標を持った、異なる国の人々と、交流することのできる環境が、とても有意義でした。漢字の識別ができる日本人の私ですら難しい中国語を難なく使いこなしている彼らを見て、頑張らなければいけないと思い、怠けることなく生活することができました。

授業を通し、中国語の勉強だけでなく、中国人の生活や、周辺のおいしい料理、週末や祝日の過ごし方など、様々なことを教えてくれるので、中国の文化についても理解を深めることが出来ました。

食事に関しては、学内にスーパーや食堂がいたるところにあるため、特に困ることはありませんでした。値段もとても安いのでお金を気にすることなく、毎日たくさん食べることができます。一食分の量が日本と比べると多いと思います。基本的に美味しいのですが、日本では見かけないような香辛料が多く使われおり、油っぽい料理が多いので、慣れるまで時間がかかったように思います。また、中国では日本と違い、電子マネーやアプリが大変普及しているため、現金を使うことが極端に少なかったです。アプリを使い、寮にいながらデリバリーを頼むこともできるので、寒い冬など外に出たくない日もとても便利でした。空気が汚いといわれていますが、常に汚いわけではなく、綺麗な星が見える日も沢山ありました。また、雨が降ることがとても少なく、晴れの日がほとんどなので、とても過ごしやすかったよ

うに思います。乾燥には注意が必要です。冬は新潟に比べると寒いですが、服もとても安く買うことが出来るので、心配はいらないと思います。

この4か月の留学はとても有意義なものとなりました。日本でテレビを見ているだけでは知りえない、中国人の温かさを知ることができました。知らない土地に行き、必死で頑張った4か月の留学から得た経験は他の何にも変わりえません。そして今回の留学は、中国語だけでなく、精神的にも大きく成長できたに違いありません。留学前や留学中、応援し支えてくださった先生方をはじめ、関係者の方、全ての方々に感謝しています。中国での生活を恋しく思うことが多々あります。今後も引き続き語学能力を高め、また中国に足を運ぼうと思います。

クラスメイトたちと



